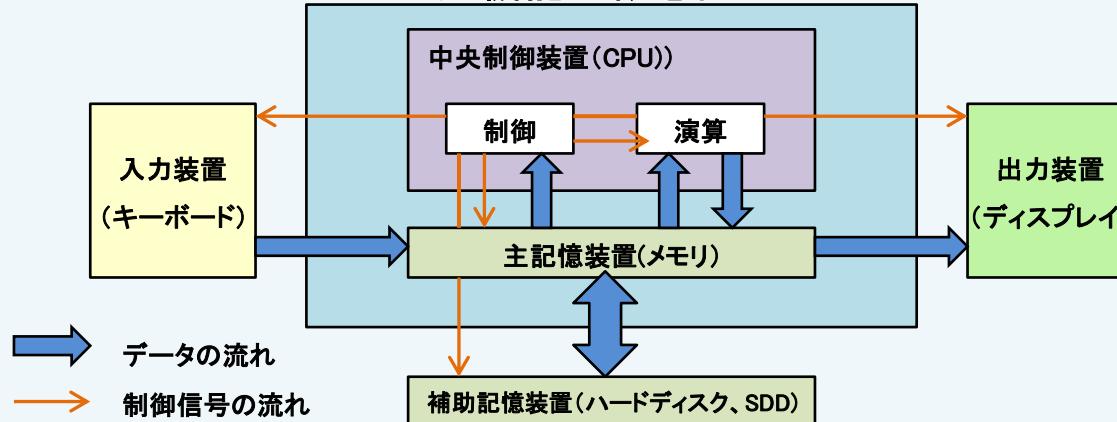


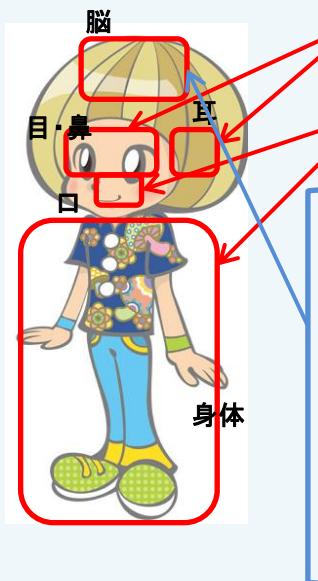
コンピュータの構成（ハード）

コンピュータは5つの機能を持っている。

5大機能の概念図



データの流れ
制御信号の流れ



機能	装置	働き
入力	キーボード、マウス、スキャナー、マイク、パッド、カメラなど	命令を伝える コンピュータに仕事をさせるための命令やデータなどを入力する機能。
出力	ディスプレイ、プリンター、スピーカーなど	処理結果を表す コンピュータが仕事をした結果を表す機能。
記憶	主(内部)記憶装置 メモリ 補助(外部)記憶装置 USB、ハードディスク、SSD、DVDなど	一時的にデータを記憶しておくため部品。パソコンで複数の作業を同時にこなす状況の処理速度に影響してゆきます。基本的に多く搭載しているほど、処理速度が向上する。 例えばテキスト・写真・動画などのファイルを保存しておくための部品。ストレージにはHDD・SSDなどが存在しますが、SSDの方が読み書きが早く、より高性能。
制御	各装置のコントロール	それぞれの装置を正しく働かせるためのコントロール機能。この機能は単体の部品としてではなく、演算機能と一体化された中央処理装置として存在する。
演算	CPU(中央処理装置: Central Processing Unit)	コンピュータの本質機能。文字どおり計算をする機能で、プログラムに従って入力されたデータを処理し出力にまわします。ほかの機能はすべて、この演算機能を補助する役割ともいえます。現在は通常、演算機能と制御機能が一体となって中央処理装置(CPU)と呼ばれています。このCPUの性能がほぼコンピュータの性能といえ、簡単にはクロック2.5GHz(ギガヘルツ)などの処理速度で表わされています。

コンピュータの構成（具体的な装置例）

1. 入力装置



キーボード



マウス



マイク



カメラ

2. 出力装置



ディスプレイ



プリンター



スピーカー

3. 記憶装置

3. 1 主記憶装置



メモリ

3. 2 補助記憶装置



内蔵HDD



外付けHDD



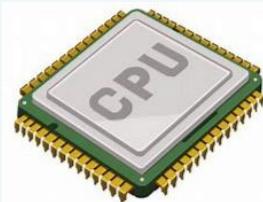
USBメモリ



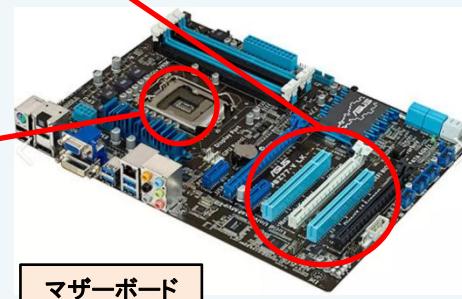
DVD

4. 制御装置

5. 演算装置



CPU



マザーボード